

いげのやま このクイズラリーは、恵解山古墳 ワークショップで作いました

～ 恵解山古墳ワークショップ ～

恵解山古墳ワークショップは4月～8月に3回開催し、総勢29名が参加しました。ワークショップでは、4班に分かれ恵解山古墳公園の開園イベントや今後の活用について話し合いました。クイズラリーのほか、古代衣装体験やキャラクターとの写真撮影、ペーパークラフト刀づくり、埴輪づくり、おもてなし広場（物産販売）などもワークショップで提案された企画です。

ワークショップのメンバーはスタッフとして当日も参加しています！



クイズのこたえと解説

A 古墳時代の初めの頃は古墳の上（前方部）でお葬式やお祭りをしていましたが、恵解山古墳のつくられた古墳時代中期には、古墳の下に造り出しと呼ばれる張り出しをつくり、埴輪などをならべてとり行われるようになりました。

B 1980年に発見された武器類は「659点以上」、後の調査で見つかった農具は「60点以上」です。合わせて「約700点」です。武器類を埋藏した施設の他にも鉄製品を納めた施設があった可能性が高いと言えます。

C 恵解山古墳は全長約128mで、乙訓地域最大の前方後円墳です。後円部には死者を埋葬した竪穴式石室があったとみられます。前方部の中央には刀剣などの鉄製武器が多数納めてありました。前方部の幅は約78.6m、高さは推定7.6mの規模です。

D 恵解山古墳には、東西2つの造り出しがつくられています。東造り出しは、小石を敷きつめて洲浜が表現されています。ここから出土した水鳥形埴輪も水辺をあらわす演出の一つと考えられます。